

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト 実施報告書

報告日	平成30年2月23日
主管学校名	大阪教育大学附属特別支援学校
PTA会長名	大西 扶由子

実施概要	主管校	大阪教育大学附属特別支援学校
	交流校	大阪教育大学附属平野小学校（PTA会長 梅田 千絵）
	実施活動名	交流及び共同学習
	実施日時	平成29年9月～平成29年12月（年間6回を予定）
	実施場所	大阪教育大学附属特別支援学校、大阪教育大学附属平野小学校
	実施目的	【全体】特別支援学校児童と小学校児童の交流及び共同学習を通して、友だちを意識し、互いの良さを認め合い、協力して活動する喜びを知る。 【特支】普段とは異なる集団の中で、運動を通して交流を図り、それぞれのグループで仲間意識を高め、社会性などを育てる。
	実施内容	・特別支援学校の教員による小学校4年生児童への事前指導 ・全員で挨拶 ・自己紹介 ・グループで挨拶をする ・ふようまつりや運動会での出し物を披露しあう ・「さまざまなボールをつかった動きにとりくもう。」・感想や意見を伝え合う
実施方法	・教員による児童への事前学習後、1回目は特別支援学校児童15名と小学校児童105名全員で会い挨拶。 ・その後、3グループに分かれて、その学年・発達段階に合わせた事前学習を踏まえた上で、交流及び共同学習を2回ずつ実施する。主に2学期の取組みで、3学期に小学校を来訪し振返りを行う。 小学部1くみ（1，2年）と小学校4年1組（35名）、 小学部2くみ（3，4年）と小学校4年2組（35名）、 小学部3くみ（5，6年）と小学校4年3組（35名） 特別支援学校での「うんどうⅡ」、小学校での新教科「未来そうぞう科」の時間に特別支援学校の体育館で実施する。	
参加人数	特別支援学校 児童15名 小学校 児童105名	

報告事項	内容	全体の事前学習の後、小学校は1組2回、2組2回、3組2回（たいてい2週連続）、それぞれ本校の事前授業そして2回ずつの交流で来校した。アイスブレイク的な役割としても様々なボールが役立った。3グループに分かれて、様々なボールを使って一緒に遊んだ。キャッチボールやバスケのボールにシュート、サッカーのように蹴ったり、ふわふわボールあて鬼ごっこなどをしたりしていた。時には、ボールを一緒に探しながら、話して夢中になったり、追いかけてごっこが始まったりする等ボールを介して、一緒にその場で楽しさを共有する機会となりとてもよかった。その後、ルールのあるボールを使ったゲームなども取り入れ、グループ毎に持ち方や順番などの工夫を考えたり励ましの声、応援の声が聞こえたりした。1回目には少し緊張感をもって楽しみ、2回目には名前を呼び合ったり、笑顔が出たりして、前回の遊びを期待している様子を観ることができた。3学期にまとめの会として、特支15名が小学校を訪問し、振返りをしたが、一緒にボール遊びができた思い出を語る子どもが多かった。
	結果	場を共にするだけの交流ではなく、互いに学び合うための「交流及び共同学習」である。とは言え、まずは、相手のことを知り、言葉を交わしたり場を共にしたりすることが学び合う、知り合う基礎であることがわかる。そのきっかけや仕掛けにこのボールがとても効果を示した。今回は、2学期の交流を終えてから購入作業に取り掛かったため、大きなボールや玉入れなどは今回違う形で行ったが、次回、皆で取組むことができるとなれば、更に遊び方を考えたり、工夫したりすることに繋がると考える。来年度の方法がよかったため、来年度も年間7回の予定で交流及び共同学習を行う予定である。
	所感	たいていの児童生徒はボールを使った遊びが好きで、素材や形状によっても飛距離や、飛び方、落下の仕方など異なり、子どもたちが一度は投げしてみようとする。その結果、驚きや楽しみを感じ、その場で一緒にいる人とその感情を共有しようとする。今後に更に期待している。

添付書類	領収書、収支決算書 保護者の感想、教員と児童の感想
------	------------------------------

カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月23日	
学校名	大阪教育大学附属特別支援学校	
学年	小学部	1年 ~ 6年

授業担当者の感想

平成29年度は、附属平野小学校4年生と本校のうんどうⅡの時間を通して、交流及び共同学習を行った。様々なボールを使用しての交流を深める中、本校の運動教具の乏しい部分を感じていた。今年まだ数回、次年度も、附属平野小学校4年生との交流及び共同学習を行う予定なので、今回の物品購入により、今後更なるよりよい活動が期待できると考える。

児童感想：Aさん「ボールがたくさんあってうれしい。」

Bさん「サッカーしたい。」

Cさん「ラグビーボール、はじめてさわった。」

Dさん「玉入れができてよかった。たのしい。」

Eさん「大玉ころがしが楽しみです。」



カンガルーシップ活動 共生プロジェクト参加感想

提出日	平成30年2月23日
学校名	大阪教育大学附属特別支援学校

保護者の感想

- ・この学校は50年経つので、古いものが多い。子どもが直接さわるもの（教材教具）はどんどん新しくして欲しい。
- ・予算が付かない中、古くても、少々痛んでもそれを使い続けている。このようにお金を付けていただいて、きれいで新しく、バウンドもいいボールをたくさん買ってもらったら、子ども達もとても嬉しいと思う。
- ・大玉転がしは、PTA ミニ運動会とかでもできそうだし、子どもたちはすごく喜びそう。ケガをしないように先生には見ておいていただかないといけないけれど。
- ・玉入れも、有りそうで無かったんだとわかった。難しいルールがわかりにくい子も参加できる、皆でできるゲームだから、すごくいいんじゃないかと思う。